

国の自動車安全技術に関する取組について

1 先進安全自動車推進計画（ASV推進計画）について

（1）目的

交通事故を減らし、より安全にクルマを運転できるよう、官民が連携し、ASV※の開発・普及を促進。

※ASV:Advanced Safety Vehicle（先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車）

（2）体制

- ・平成3年度、当時の運輸省が「ASV推進検討会」を設置。
- ・現在、第5期検討会（23年度～27年度）において、「ASV推進計画（ASVに関する技術の開発・実用化・普及促進プロジェクト）」が進められている。

【ASV推進検討会 構成メンバー】

学識経験者、自動車・二輪車メーカー（14社）、関係団体、関係省庁

（3）成果・検討状況

○「ASV推進計画（第1期～第4期）」を通じて実用化されたASV技術（例）

- ・衝突被害軽減ブレーキ：前方の障害物との衝突を予測して警報し、衝突被害を軽減するために制動制御する装置
- ・レーンキープアシスト：走行車線の中央付近を維持するよう操作力を制御する装置
- ・ACC（Adaptive Cruise Control）：一定速で走行する機能および車間距離を制御する機能を持った装置
- ・ふらつき警報：ドライバーの低覚醒状態を注意喚起する装置
- ・ESC（Electronic Stability Control）：車両の横滑りの状況に応じて、制動力や駆動力を制御する装置
- ・駐車支援システム：後退駐車時、ハンドルを自動制御して後退駐車を補助する装置

○「第5期計画（平成23年度～平成27年度）」の検討状況

- ・歩行者保護や高齢者対策等を中心としたASV技術の飛躍的高度化の検討
- ・次世代通信利用型のシステムの開発促進 等



ASV推進計画の活動経緯と第5期の計画



交 通事故削減を目的に、ASV 推進計画は、1991 年度から 20 年以上にわたり活動し、ASV 技術の実用化による事故削減に貢献するとともに、通信利用型技術の実用化に向けて活動を行ってきました。

第 5 期では、さらなる事故削減に向け、歩行者保護や高齢者対策等を中心として、ASV 技術の飛躍的高度化の検討を進めるとともに、次世代の通信利用型のシステムの開発促進を図ります。

! **第 5 期** 2011 年度～ 2015 年度

飛躍的高度化の実現

- ASV 技術の飛躍的高度化に関する検討
- 通信利用型安全運転支援システムの開発促進に関する検討
- ASV 技術の理解および普及促進に関する検討
- 国際基準調和に向けた情報発信

✓ **第 4 期** 2006 年度～ 2010 年度

事故削減への貢献と挑戦

- 交通事故削減効果の評価手法の検討及び評価の実施
- 通信利用型実用化システム基本設計書の策定
- ★ ASV30 台による通信利用型の公道総合実験

✓ **第 3 期** 2001 年度～ 2005 年度

普及促進と新たな技術開発

- 運転支援の考え方の策定
- ASV 普及戦略の策定
- 通信技術を利用した技術開発の促進
- ★ ASV17 台による通信利用型の検証実験

✓ **第 2 期** 1996 年度～ 2000 年度

実用化のための条件整備

- ASV 基本理念の策定
- ASV 技術開発の指針等策定
- 事故削減効果の検証
- ★ ASV35 台によるデモ走行

✓ **第 1 期** 1991 年度～ 1995 年度

技術的可能性の検討

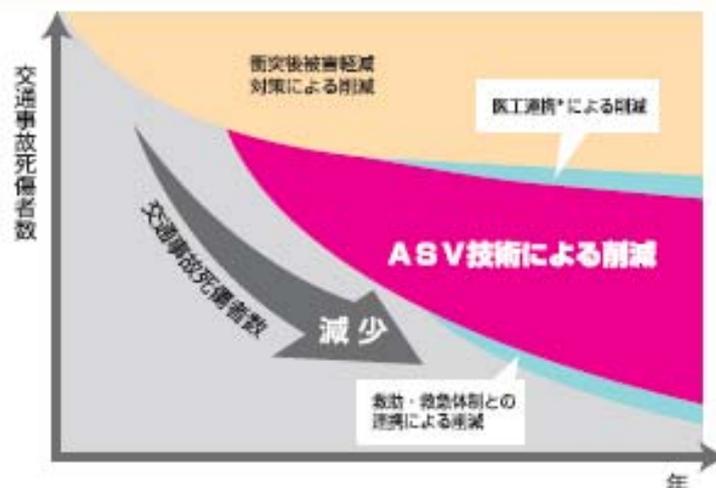
- 開発目標の設定
- 事故削減効果の検証
- ★ ASV19 台によるデモ走行



ASV技術による交通事故削減への貢献と挑戦のイメージ



よ り高度、かつ、より広範囲な安全運転の支援を実現し、交通事故削減に大きく貢献することを目指しています。



* ここでいう医工連携とは、事故時の傷害や救急医療データを収集、共有することでよりきめ細かい車両安全対策を検討することです。